

モニタリングでのエラー確認方法

この書類では、モニタリングサイトでパワーコンディショナのエラーを確認する方法を説明します。

手順

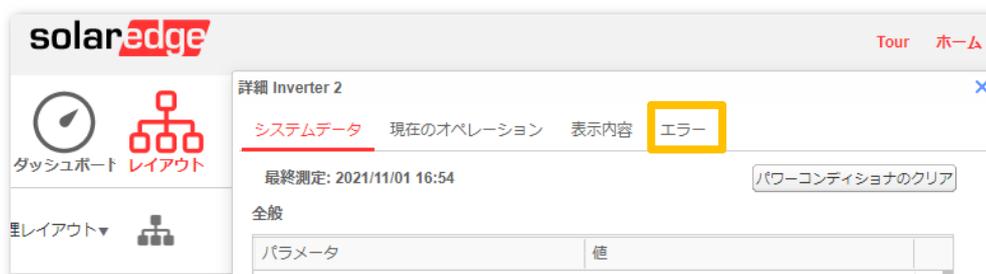
1. モニタリングサイトの該当のサイトにアクセスする。
2. “レイアウト”をクリックする。



3. パワーコンディショナを右クリックし、メニューを表示させ、“情報”を選択する



4. “エラー”を選択する



5. エラー一覧が表示される。

 (リスト)をクリックすると、履歴を確認できる。



詳細 Inverter 2

システムデータ 現在のオペレーション 表示内容 **エラー**

あなたの最終リフレッシュ:

コード	説明	最終発生日	QTY	
40	単独運転障害	<input type="text"/>	2	

エラーコード: 40
単独運転障害

2021/

2021/

このスクリーンショットは、SolarEdgeの監視ソフトウェアの「エラー」タブを示しています。上部には「システムデータ」、「現在のオペレーション」、「表示内容」、「エラー」のタブがあり、「エラー」タブが選択されています。その下には「あなたの最終リフレッシュ:」というラベルと入力欄、および「パワーコンディショナのクリア」ボタンがあります。中央にはエラー履歴を表として表示し、列として「コード」、「説明」、「最終発生日」、「QTY」があります。この表には1つのエラー履歴があり、コードは40、説明は「単独運転障害」、最終発生日は入力欄、QTYは2です。この行の右端にはハンバーガーメニューアイコンがあり、黄色い矢印で下の拡大図へと指しています。下の拡大図は、エラーコード40と説明「単独運転障害」の左側と、発生日が2021年であることを示す右側の詳細を拡大して表示しています。